

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	提案したいいずれか1企画のみ実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃげきだんはいしょう		
制作団体名	株式会社劇団俳小		
代表者職・氏名	代表取締役 斎藤真		団体ウェブサイトURL
			https://www.haishou.co.jp
制作団体所在地	〒 187-0013	最寄駅(バス停)	西武新宿線 花小金井駅
	東京都小平市花小金井南町1-13-33 ユーベル花小金井B1		
制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
ふりがな			
公演団体名			
代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
制作団体 設立年月	昭和49年1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 斎藤 真 専務取締役 勝山 了介 常務取締役 大川原 直太 監査役 井出税理士事務所	(1) 団体構成員 個人30名(劇団員23名、研究生7名) (2) 主な構成員 俳優 斎藤真、勝山了介、大川原直太 (3) 加入条件 劇団俳小入団試験後、選定	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	大川原 直太
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	西本 さおり
本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
	info@haishou.co.jp		0424529140





制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>昭和46年、早野寿郎・小沢昭一等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が解散し、演出家・早野寿郎が主催者となり、昭和49年、劇団俳小を創立。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典、新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台に載せる等、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として再出発した。</p> <p>昭和51年『あの人は帰ってこなかった』で文化庁・芸術祭優秀賞。平成6年には、ジェームス三木作・演出による『上杉鷹山』が、地方行政(米沢市)との協力による公演形式で全国的话题となる。他、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どさ回りのハムレット』、『悲喜劇～自殺者』、『金閣炎上』、『チーチコフー死せる魂よりー』などで、池袋演劇祭大賞をはじめとする各賞を受賞。『袴垂れはどこだ』で第25回読売演劇大賞・杉村春子賞(シライケイタ演出)を受賞。自主公演、小中高を中心とした学校公演(文化庁主催『文化芸術による子供育成推進事業』)、アメリカ、ヨーロッパ、ロシアなどでの海外公演など、幅広く精力的に活動している。</p> <p>また、最近では優れた舞台を造り続けている眞鍋卓嗣、小笠原響等の気鋭な演出家達を招聘して、カナダ演劇、オーストラリア演劇などの話題作を上演し、新聞評、演劇雑誌評等で高い評価を受けている。</p>
	学校等における公演実績	<p>1.「わが町」(200ステージ以上) 各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>2.「カチカチ山」(500ステージ以上) 都立一ツ橋高校、私立豊島実業高校、私立桐朋女子高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p> <p>3. 文化庁舞台芸術ふれあい教室～本物の舞台芸術体験事業 「椎の木の暦」(200ステージ以上) 各地の小中学校他、県立若狭高校、県立米沢商業高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p> <p>4.「どさ回りのハムレット」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>5.「ら抜き」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>6.文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業～舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 「トキワ荘の夏」(200ステージ以上) 各地の小中学校他、石川県高等学校文化連盟、私立桐蔭学園等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>特別支援学校等における公演実績はありません。しかし、学校巡回公演等で、特別支援学級の生徒さんにも一緒に観て頂いています。その時は先生方と良く話し合い、舞台設営においては通路の配線や道具の設置位置及び照明の明るさや音響の調整等にも細心の注意を払いました。また、聴覚障害のある生徒にはパソコン、視覚障害のある生徒には事前に台本を送付し、点字台本の用意をして頂き、身体不自由な生徒には車椅子と付き添いの方の席を設けて頂く等、先生方には特別な配慮をして頂きました。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添	あり
----	----

【公演団体名 株式会社劇団俳小 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
		小学生(高学年)	○	中学生	○
	企画名	人の命とやさしさと心の物語～『椎の木の暦』～			
	企画のねらい	今回の作品は、障害を持ったために、また、出自のために差別される子供達を、主役の渡先生が他の生徒達と同様に分け隔てなく教えていくという、先生と生徒達との心温まる交流を描いたものです。 互いの目を気にして少々息苦しい現代社会。それはそのまま子供達の社会にも影響を及ぼしており、ネットのいじめやスクールカーストなど厳しい環境に取り囲まれているかもしれない今の子供達に「希望」と「明るさ」を与えてくれる「演劇」の力が必要と思い本作品を企画しました。 そして、本作品を観た子供達、生徒さん達が想像力、創造力、感性が研ぎ澄まされることや、舞台造りに参加したり、そのためのワークショップや舞台道具の搬入、搬出等を出演者達と協力してやっていくなかで、創造、工夫、努力、協力といった「物を造る」ための感性とコミュニケーション能力が育まれていくことも大きな目標としています。 (これらの目標は本事業の特徴でもある「生徒達の舞台参加」「事前のワークショップ」「体育館での公演」であればこそで、より効果的に実施可能となります。)			
	演目概要・演目選択理由	別添シート参照			
	児童・生徒の参加または体験の形態	ワークショップでは、最初にプロジェクター等で時代背景の説明を行います。その後、演劇的なエクササイズや、クイズ等の遊びを取り入れた体験をしてもらい、生徒さん達に自由な発想力を育んでもらいます。 全校生徒には最初と最後の歌を一緒に歌うための練習を行います。 出演生徒には登場シーンの練習や、劇中の歌の練習も行います。 本公演では、最初に椎の木の暦の主題歌を歌ってもらい、分教場の生徒として自己紹介をしてもらいます。 最初のシーンはそのまま俳優たちと一緒に渡先生の授業シーンに参加します。 その後、蒔取りのシーンでは、舞台上で歌や踊りを行い体全体を使って表現してもらいます。 エンディングにも登場してもらい、全校生徒と一緒に主題歌を歌ってもらいます。			
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	6名	
			鑑賞人数目安	500名程度(全校生徒可)それ以上応相談	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	原作:水上勉 脚色:ふじたあさや 上演台本・演出:菊池准 音楽:平岩佐和子				
	公演時間	100	分		
出演者	大川原直太 大久保たかひろ 手塚耕一 駒形亘昭 佐京翔也 宮崎佑介 吉田ひさ子 西本さおり 荒井晃恵 小池のぞみ 諸角真奈美 吉岡真琴 ※上記俳優は予定です。				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	原作:水上勉 1919年福井県生まれ。少年期に禅寺で修行を経験し、その体験が後の文学に大きな影響を与える。 戦後に作家活動を開始し、『雁の寺』『飢餓海峡』『越前竹人形』など社会派推理や人間の宿命を描いた作品で高い評価を得る。直木賞・菊池寛賞・谷崎潤一郎賞など多数受賞し、文化功労者にも選ばれた。2004年に85歳で逝去。 上演台本・演出:菊池准 劇団昴・劇団俳小などで多くの話題作を演出し、現在は演劇企画JOKO代表取締役。『アルジャーノンに花束を』『ゴンザーゴ殺し』『樫の木はうたう』など脚色・演出多数、ミュージカル作品も幅広く手がける。 著書に『戯曲・アルジャーノンに花束を』(早川書房)。 芸術監督・キャスト:大川原直太 俳優。木野花ドラマスタジオ、東野栄心一座等を経て劇団俳小所属。主な出演作品に「袴垂れはどこだ」(演出:シライケイタ)、「ダンシング・アット・ルーナサ」(演出:小笠原響)他。 外部公演、映画等にも多数出演。				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者:	12	名	運搬 積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台	
	スタッフ:	7	名		
	合 計:	19	名		

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度								
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出								
	8時	8時～11時		13時30分～15時10分	10分	15時25分～17時	17時								
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。														
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月								
	20日		10日		10日		20日								
	10月		11月		12月		1月								
	20日		20日		20日		10日								
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		130日								
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ビジュアルイメージ</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>															
<p>公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)</p> <p>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡</p>															
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否			該当あり		該当コンテンツ名	著作権								
	該当事項がある 場合	権利者名	水上勉		許諾確認状況	採択後手続き予定									

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

株式会社劇団俳小

】

ワークショップの
ねらい

椎の木の暦におけるワークショップは主に3つのねらいがあります。

① 時代は昭和19年から20年の太平洋戦争が終わるころの福井県の分教場が舞台です。本公演だけで今の子供たちにその時代の生活を理解してもらうのは困難ですので、架空の話ではなく実話に基づいた作品であると感じられるようにワークショップでは映像を使い、当時の街並み、家屋、食事、服装などの写真を見せて理解してもらい本公演ではそこに自分がいるかのような体験してもらいます。

② 作品の中に落とりのシーンが出てきます。あいにく雨が降ってきてしまう。その時に分教場の子供は落を食べるものとしてではなく、傘として落を使う。何気ないことですが、落を傘にするという発想の転換です。ワークショップでは発想の転換のためのクイズを出して答えてもらい、物事を多面的に見る目を養ってもらいます。

③ 落とりのシーンではその様子を踊りとして振付け、うたを歌い楽しんでいる様子を表現してもらいます。「楽しい」、「うれしい」、「面白い」というこころの叫びを歌と踊りで表現し、達成感、幸福感を感じてもらいます。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

500名

ワーク
ショ
ップ
の
内
容ワークショップ
実施形態及び内容

●1コマ目

① 15分

「椎の木の暦」の時代の写真をプロジェクターで映し出しながら、舞台となった福井県若狭の風景、分教場とはどんなところなのかを説明していき、そのころの小学生の学校生活、人々の暮らしぶりを説明します。

② 15分

演劇的なエクササイズ(セブンナップなど)をやり、発想の転換をするクイズを出していきます。例えば、「衣服は着るものだが、古くなったら雑巾になる。」というようなことを自由に考えてもらい発想することの楽しさを体験してもらいます。

③ 15分

最初と最後のシーンに歌があるのでその歌の練習をします。自分がこの作品を劇団と一緒に作り上げるという気持ちをお互いに持ちながら歌うことにより、観客としてだけでなく出演者、表現者であるということ、また、生徒全員で協調して物事を作り上げる喜びを感じてもらいます。

●2コマ目

① 15分

最初の登場シーンは自分の名前、自己PRを当時の子供としてやってもらいます。そのためプロジェクターで見せた写真から自分がその当時の子供だったら何を言うか考え、他の人にも協力してもらい自由な発想で文章を作ってもらいます。

② 15分

落とりのシーンの歌と踊りを音楽に合わせながらやってみます。その時にただ歌い踊るのではなく、自然の中で落とりしていることを創造し、心を開放し、感情をのせて表現してもらいます。

③ 15分

出演者は歌を舞台上で歌うため、本公演でどのあたりで歌うのか、どんな動きをするのかを確認して、歌ってもらいます。カーテンコールの並び方、お辞儀の仕方など説明してから実際にやってもらいます。

●3コマ目

本公演当日30分から60分

公演当日に大道具、照明、音響をセッティングした後、6人の出演者に本番同様の演技をしてもらいます。どんな明るさなのか、どんな音が出るのか、どんな出演者がいるのか。すべてがはじめての経験です。そこで劇団員、スタッフも協力し子供たちが一緒になって舞台上に上がれるように全力でフォローします。また、怪我の無いように、細心の注意をはらうよう話します。

その他ワークショップに
関する特記事項等

歌のCDと出演シーンの台本を送付します。

参考ホームページURL

水文学と竹人形文楽の里「若州一滴文庫」

<https://itteki.jp/>

を参考にして、水上勉の世界を理解して頂きます。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 株式会社劇団俳小 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		60 A以上
舞台設置面積	間口	9 m	奥行	3.8 m		
	高さ	5 m				
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		可	
搬入間口の広さ	幅	1 m	高さ	1.8 m		
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		不要	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		30 m以内	
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台		
搬入車両の大きさ	車幅	2 m	車長	6.5 m		
備考	一部条件を満たしていない場合(主幹引き込み電源容量の不足)でも対応可能な場合がありますので、実施校の状況に応じた対応が可能です。					

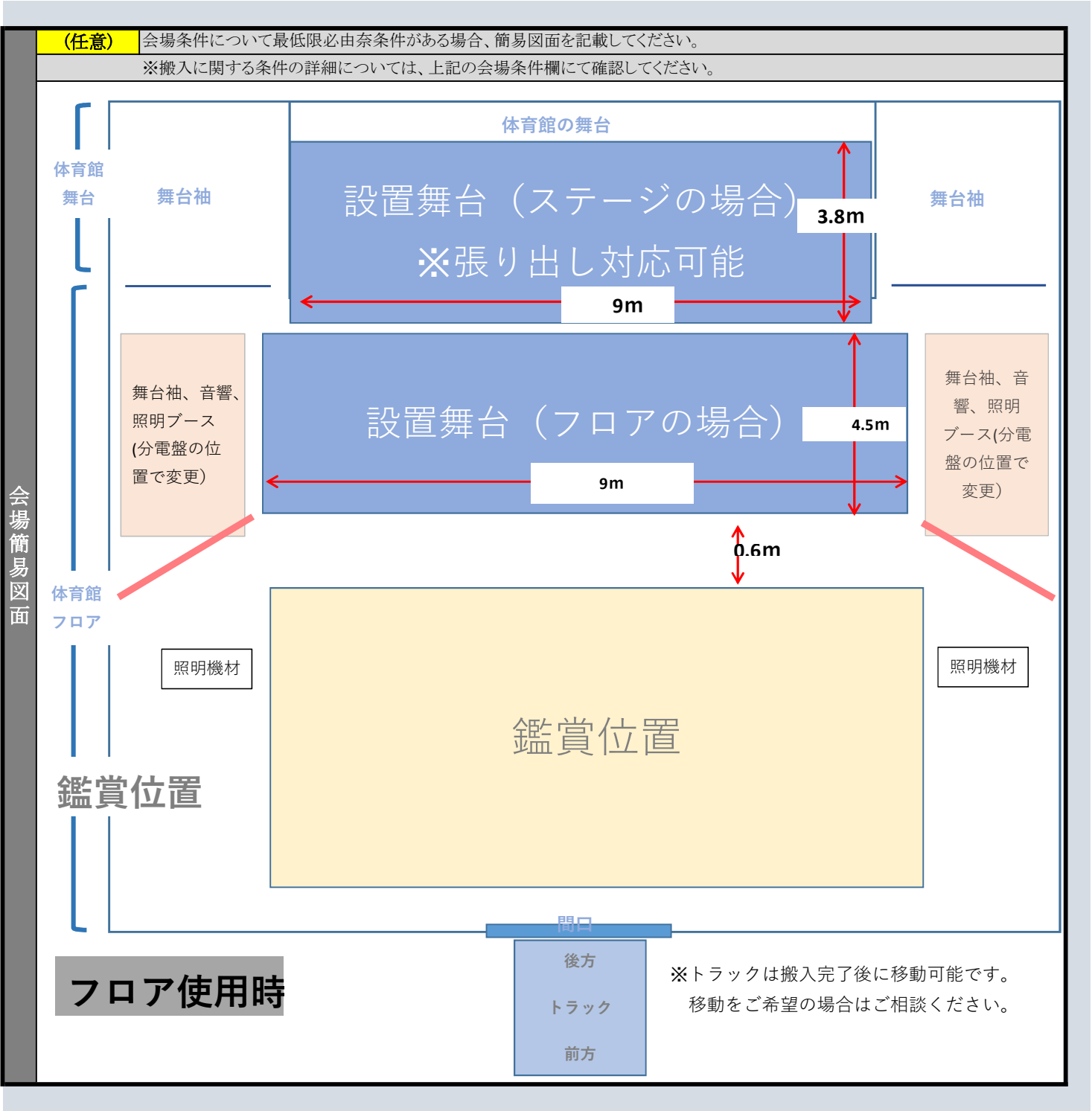
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名

株式会社劇団俳小

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

この事業は舞台芸術の鑑賞という情操教育の側面にとどまらず、社会教育(コミュニケーション教育)的側面が含まれており、豊かな人間性を育み、将来の文化芸術の担い手や観客育成などに資すると同時に、生の演劇に接する機会が少ない子供達に良質な舞台を提供する大事な事業だと認識しています。

また参加型公演(舞台への参加、舞台の仕込みと撤去の参加、バックステージツアー等)および「本番のためのワークショップ」の実施によって、生徒たちは新しい出会いと発見をしていきます。共に稽古をし、自分自身の潜在能力を発見し「物造り」の楽しさを知り、生き生きとした新鮮な生活を見出していくのです。

次に、普段、体育や学校行事に使っている体育館が別世界に生まれ変わる事を知り、生徒達の創意工夫、協力という想いが生まれていきます。

そして、これらの体験を通して、学校内にとどまらず、生徒達、先生方、保護者の皆様、地域の方々とのコミュニケーションの場を広げ、「演劇」の意義と必要性を理解して頂き、心豊かな地域性への効率的な寄与が出来るようにしたいと思っています。

以上の事を実施出来るように「本番」および「ワークショップ」の充実を図っていききたいと思っています。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

各学校、各生徒の性格、状況はそれぞれ違います。画一的な練習をするのではなくそれぞれの個性に合わせた子供たち、生徒たちの視点に立った練習をしていきます。そうした本番のための練習、ワークショップを行っていくと、生徒たちは楽しく受講していくようになり驚くほど心を開いていき、見る・聞く・感じるなどの五感を発達させ、コミュニケーション能力の向上にもつながっていきます。本番、ワークショップに参加した生徒たちだけでなく、生徒全員が参加し全員が物を作ることの楽しさが感じられるように、クライマックスの合唱のシーンでは全校生徒にも歌ってもらい、先生方にも参加して頂き、感動的なクライマックス、カーテンコールを創りあげます。

本番とワークショップで必要な資料(台本、楽譜、CDなど)を事前に送付し、本番に間に合うための練習方法(音楽の授業やホームルームでの練習やお昼休みに歌のCDを流して頂くなど)をワークショップで先生方と生徒さんたちと丁寧に相談していきます。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

事業を施行するためには、各学校、各先生方とのきめ細かい「事前の打合せ」が必要です。事前に実施校の校長先生、担当の先生へ連絡を入れ、事業の意味、及び作品についての説明をきちんとし、先生方との信頼関係を築きます。

先生方との話し合いで、各学校それぞれの生徒たちにあった舞台の参加形態とワークショップ、舞台、舞台道具の搬出、搬入、バックステージツアー等の方法及び当日のスケジュールを考えていきます。

なお、各種感染症の流行、熱中症、自然災害などのイレギュラーな問題については、その対策について先生方と話し合っていきます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

舞台設営においては、子供たちが通る通路の配線や道具の設置位置など、常に一つ一つ細かい点に気を配ります。

学校によってはスクールバスの時間により下校時間が決まっている所があるので、その場合は下校に間に合う様に開演時間や休憩時間の調整を行います。

特別支援学級の生徒さんたちに見て頂く時には、先生方とよく話し合い、照明の明るさや、音響の調整などにも最新の注意を払います。聴覚障害のある生徒にはパソコン、視覚障害のある生徒には、事前に台本を送付し、点字台本の用意をして頂きます。身体不自由な生徒さんには車椅子と付き添いの方の席を設けて頂くなど、先生方には特別な配慮をして頂きます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

終演後にまず、先生方や生徒さん達と座談会や感想発表会の場を作り、この事業と本公演についての話し合いを持ちます。また、公演の感想文を書いて貰う事で、舞台を観た事による自分の中での発見や気持ちの変化を再認識してもらいます。

生徒さんには、事業の後、学校で行う学芸会や学習発表会の時に本事業での経験を生かしてもらいます。もし作品選びや演技術についての相談やアドバイスなどが必要な場合は、劇団へ気軽に連絡を取れるように伝えるなど、舞台に興味を持ち続けてもらう様に関係性を継続していきます。

このように、今後も様々な方法で事業後の生徒さん達への継続的な学びに寄与したいと思っています。

リンク先	No.2	【公演団体名	株式会社劇団俳小	】
別添シート 演目概要・演目選択理由	<p>●演目概要</p> <p>戦争末期、水上勉が戦時中、生まれ故郷へ疎開していた約1年半、福井県青葉山の中腹にある分教場で代用教員として教鞭を振るっていた当時の体験をもとに作者自身をモデルにした渡先生とその教え子たちとの日々の生活を描いた物語です。</p> <p>昭和19年4月、渡先生は赴任早々、それまで拒絶されていた自閉症児のタミ子を就学させる。そのタミ子の成長を軸に生活の急変に戸惑う疎開児童、朝鮮人を父に持つ子、吹雪を押して分教場に通り遭難死する女教師の話などが四季の変化の中に織り込まれていく。</p> <p>季節は巡り昭和20年夏、終戦。疎開児童は親元へ、渡先生も東京へ帰っていく。そしてタミ子も…。</p> <p>●演目選択理由</p> <p>戦時中という過酷な状況に関わらず、福井県山間の分教場での教師と生徒及び生徒同士の心温まる信頼関係が描かれた本作品と触れ合うことで、現在、忘れかけた他人への思いやりや他者と協力し合う大切さを育むことができると同時に、分断や差別に囚われず他者との関係を大事にするという人間性が養われる作品です。</p> <p>先生だけでなく子供達も主役ですので舞台に参加しやすく、観客となる生徒さん達も舞台上の出来事を自分の事として感知して感動的な芝居になります。生徒さんだけでなく、彼らを見守る先生方や保護者の方も一緒に舞台を楽しく観てほしいと思いこの作品を選択しました。</p>			